

まちの観光会館 結びん

結びんは、主に高砂市の観光案内所ですが、高砂市の歴史に関する興味深い展示物もあります。

高砂が古くから縁結びの町として知られ、夫婦や良縁のご利益を求める人々を惹きつけてきたことや、1785 年に帆用の松右衛門帆布が誕生したことなどを紹介しています。木綿を織った松右衛門帆布の発明が、日本の近代漁業の発展や内航海運の成功にどのように貢献したかが展示されています。

結びんの建物は 1700 年代に建てられました。当時、向かいの棧橋で廻船問屋を営んでいた中島家の事務所兼住居でした。近世には郵便局として使われていました。古い金庫や現在は使われていない公衆電話ボックスなど、当時のものが数多く残されています。建物の歴史的特徴を保存する努力がなされています。

ショップには地元の特産品が数多く展示され、お土産として購入することができます。また、地元の工芸品や製品を紹介するイベントやワークショップも開催されています。オフィスの外には、地元企業のバンブー・ファム社が製作した竹製のベンチがあり、街を散策する前の休憩スポットとして快適です。